

表紙のことは

早坂 満人「夢の犬」

本人の本心を記載できないことをお許しください。2002年に息子は交通事故によりICUで4カ月半眠り続けた後、奇跡的に目を開けました。高次脳機能障害で失語症。言葉の発声や文字化はできません。左手は他に比べて可動域もあり、唯一自由に動く箇所です。

愛犬たちは、息子の生活の中で現在も多々出てきます。これだけの障害を背負って生きる息子の生活は日々葛藤が多いことだと思っています。愛犬たちは、いつもどんなときも変わらないで見守ってくれている応援団で、突然重度障害を背負って生きることになった息子の心の支えなのではないでしょうか。かけがえのない大切な存在なのだと思います。1枚の絵を仕上げるために1週間ほどかかり、4枚目にしてやっと納得できる絵が描けたようです。皆様のおかげで、このような絵を描けているのだと感謝しております。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



山村 隆政「子供は宝」

少子化が進む中、未来のある子供たちが過ごしやすい世の中になるように、私たちがその道を守っていけるようにと思いを込めて描きました。

元々、病気になる前は人物画を得意としていましたが、手に麻痺が残ってからは繊細な絵は描けなくなりました。風景画や花の絵を描き続けているうちに絵も上達し、再び人物画を描いてみようかと挑戦しました。上手くは描けなくても上達しているのは感じ、何度も練習するうちに子供の絵なら私にも描けるかもしれないと挑戦した一枚です。